

# ハスヌマ通信 第4号

牧之原市や国政について考える個人紙

2021.9.15 発行

発行人 板倉直壽 (なおひさ) TEL/FAX 0548-29-0961

住所 〒 421-0411 静岡県牧之原市坂口 2142 番地 1

印刷所 アスクル (株) 東京都江東区豊洲 3-2-3

○「ハスヌマ」は私の住所の古い表示、「字ハスヌマ」と、家の屋号のハスヌマからとっています。

○ハスヌマ通信はインターネットでも、「ハスヌマ通信 板倉」で検索して頂くとご覧いただくことが可能です。

## 1、第4号の主題 その1

### (1) 牧之原市の市議会議員候補選びについて思うこと。

今年 10 月には市議会議員選挙があります。先日、ある区で、月 1 回配布される「町内会だより」に、10 月の市議選に区から立候補する候補者の名が発表されました。「今年の市議選 ○さん (引退する議員) に代わり ○さんが立候補予定 (略歴)」とあるだけで、区が推薦するとは書いてありません。しかし、古くからの住民に聞けば、推薦のことだそうです。つまり区としては○さんを推薦しませんが、どうぞよろしく、という意味なのですね。

聞けば、引退する議員が特定の方を候補者として選び、区長と相談した上で、区の役員会で発表したそうです。役員会では、賛否を論ずるとか、推薦決議をするなどの手続はなかったようです。そして、そのまま、「町内会だより」に載せられた模様です。私などは、どうせ推薦するなら、区民の代表である区の役員による活発な議論が前提にあるべきだと考えますが、そもそも区の役員会そのものが上意下達式で、そのような機能を有していないのかもしれない。

このような方法は、候補者が他におらず、何としても 1 人を区の代表として出したいという場合ならまだしも、仮にこの区から他にも立候補者がいた場合、この“推薦”は特別な意味を持つことになります。選挙で誰に投ずるかは区民の自由とはいえ、僅か数名の人が事実上次の議員を決めることになりかねないからです。そして、黙認した区の役員も含めて、多くの区民は全く蚊帳の外に置かれているという事実です。区民の意思を吸い上げたという実態がありません。このような事実は、やはり民主主義という点から見ると問題を感じます。偉い人達が決めていて、自分らは関係ない、といった不満を耳にすることが時々ありますが、もしかするとこれもその 1 つかもしれません。

### (2) 牧之原市の市議会議員について思うこと。

さほど多くの人と話したわけではありませんが、議員とは会ったことも話したこともない、挨拶にきたこともない、議員が何をしているのかも分からない、という声を聞くことがあります。市議会議員は国会議員、県議会議員と違い、1 番市民に近い存在であるはずですが、それでも遠いと感ずる人が多いのかもしれません。チラシを配布したとき、ある方が、議員は呼ばれなくても、自分から区の役員会に出て行って、皆の意見を聞くべきだとおっしゃっていましたが、役員会に限らず、手間暇をかけて人と会うことが大切なのでしょう。

議員は区の役員や組織の役員など、いわゆる“偉い人”とは接しているのかもしれませんが、それ以外の人となると、お互いに疎遠になりがちなのかもしれません。私も坂口で暮らして 8 年目ですが、1 度も個人的にお話ししたことはありません。

なお、ハスヌマ通信を配っていると、ある女性からこんなことを言われました。それは、候補者は全市一区で出ればいい、という言葉です。町内会 (区) の代表ではなく、市全体を代表する気持ちで出て欲しい、あるいは、選ぶ側も町内会 (区) を越えて人を選ぶべきという意味だと理解しました。もしも、地域代表という意識が強くと、視野が狭ければ、市全体を考える市



長にはとても太刀打ちできないかもしれません。市長（市政）にもの申す議員は市長に負けな  
いくらの広い視野と見識が必要なのでしょう。

議員にも、四六時中、市政や住民のことが頭を離れないという熱心な人もいるかもしれませ  
んし、年に 4、5 回の議会に出るだけで、後は何もしていないという冷めた人も、もしかする  
といるかもしれません。できれば議員ごとの実態を知りたいものです。石原都知事は秘書を副  
知事に据えて、多くを任せ、都庁には週に数日しか出勤せず、小説などを書いていたように報  
道されていますが、議員は情熱を持ってできる人がよいと思います。

## 2、第 4 号の主題 その 2

### (1) 国政ですが、一律 10 万円の特別定額給付金は悪政だと思います。

2020 年度は、コロナ禍で苦しむ国民の家計への支援と称して、特別定額給付金が全国民に  
一律 10 万円ずつ支給され、その総額は 13 兆円ほどにも及びましたが、私は、特に困っていな  
い人にまで給付された部分については、これは悪政だと言いたいと思います（ただし、私もい  
ただいてしまいましたが）。税金は、民間にはできない公益目的の大事業（例えばコロナ専用  
の大病院を全国に作り、医療従事者を集めるとか、コロナのワクチン、治療薬の開発支援をす  
るなど）や、本当に絶望的に困窮している人達の支援に使うべきものと考えます。もう 1  
度、一律 5 万円を、一律 10 万円をという声が出ていますが、反対です。

なお、国債はいくら発行しても国の財政は絶対に破綻しないと主張する国会議員や、政府が  
日本銀行に紙幣を必要だけ刷らせて使えばいいと主張する人がいますが、あくまでも極めて  
少数派だと思われます。それが真実なら、税金を納める必要がなくなりませんか。

### (2) 市民全員に一律 5 万円を還元すると公約して当選した岡崎市長は“悪人”。

また、地方自治の方では、2020 年末の愛知県岡崎市長選で、38 万人の市民全員に 1 人 5 万  
円を「還元」と公約した候補が、現役市長に大差を付けて当選しました。5 万円が決め手  
になったのは間違いないようですが、これを“公金を使った買収だ”と行って、検察に告発し  
た市民がいて、受理されたそうですが、検察はどう判断するでしょう。

調べると、岡崎市の一般会計は 1200 ～ 1300 億円ほどですが、給付金は 195 億円ほどです  
から、一見可能なように見えます。しかし、もともと予算は余裕がないもので、自由に使える  
税金はほとんどありません。当選者は国会議員を 10 年も務めた人ですから、公約が実現不可  
能なことは十分わかっていたはずですが、当選後も、可能だと言い続け、予算案を市議会が否決  
すると、市議会が否決したから実現できない、責任は市議会にあると言い張っているそうです。

ちなみに、岡崎市は、195 億円を捻出するため、予定していた大型会議場（予算 80 億円）  
の建設を止め（これはまだよいとして）、市の貯金に当たる財政調整基金の 81 億円をすべて取  
り崩し（これはだめ）、さらに、公園や文化施設の整備などにあてる 5 つの基金を廃止する案  
（これもだめ）を市議会に提出したそうですが、勿論否決です。こうまでして 5 万円を「還元」  
する正当な理由はないからです。このような市の財政を破綻させる予算案は、市議会の良識で  
否決されても、この“悪人”は居座り続けます。おそらく市民の中には、元国会議員が言うの  
だから、可能なのだろうと信じて投票した人もいるでしょう。地方の時代と言われますが、  
当選するためには手段を選ばない“悪人”は、監視の目が乏しい地方にこそ現れやすいのでは  
ないでしょうか。牧之原市で同様のことがあったら市民の皆さんはどう反応するでしょう。

+++++

■後書き■ 最後までお読み下さり有り難うございます。チラシを見て、全く知らない方から電話をいただいたり、  
中にはわざわざ会いに来て下さった方もおられました。有り難いことです。2 回目の配布をしていると、第 1 号を  
読んだ、あの内容は良かったと、それぞれに具体的に言って下さる方もいて、私には驚きとともに喜びでした。

